

互いに復興途上感謝

「大変な中、ありがたい」

熊本市の中心部から南東へ車で30分。御船町立小坂小学校を12月に訪問し、プレハブの仮校舎で4年生が国語の授業を受けていました。黒板わきの大型テレビに、宮城県・南三陸町の志津川中学校から贈られたモバイル書画カメラ（実物投影器）がコド



小坂小学校では、贈られたモバイル書画カメラを利用して教材を映し出して授業が進められていた。

でつながっていました。先生がカメラに向けた教材がテレビ画面に大きく映し出され、教室の子どもたちによく見えます。この日のテーマは「クラブ活動のリフレットを作ろう」。それれ考えた二つの要素を盛り込んで紹介文を作ります。

幡野さんのベルマーク人生、寸劇に？



幡野たいさんを囲んで記念撮影する木村さん（後列右から2人目）ら東浅川小学校PTAのみなさん

山梨県上野原市在住のベルマーク大使・幡野たいさんを、東京都八王子市立東浅川小学校のPTAベルマーク部が訪問しました。50年以上もベルマークを仕分けして数え、教育設備の充実に貢献した幡野さん。幡野さんが5月に市政功労者の表彰を受賞したのを知って、「お話しをお聞きしたい」と要望しました。

後継者探しに提案

会の近藤利和（ひろし）さんも同様、「人資の幡野さんのマネージャーです」と一行を歓迎しました。「ベルマークは私の生きがいなの」が口癖の幡野さん。80才で胃がんが見つかると、上野原小の子どもたちが届けてくれた寄せ書きを見て、「私にはまだやる仕事がある。病気に負けていけない」と思ったそうです。

福岡：古賀東小が3万6000点

6年が実行委、熊本の2校へ

熊本地震の被災校を応援しようと、福岡県古賀市の古賀東小学校（橋本由里校長、児童47人）がベルマークを集め、12月21日に約3万6000点を熊本県内の2校に贈りました。どんな支援が自分たちでできるかを児童が考え、地域にも呼びかけて実現しました。

6年生が実行委員会をつくり、6月に全校朝会でベルマーク収集を提案しました。被害を伝える新聞記事を読んだ子どもたちが、被災校の子どもたちへの姿をテレビや新聞で見て、触発されたようだと幡野校長は言います。子どもが応援できる身近な手段として、ベルマークがありました。

創業地の函館・青柳小へ

40人にベルマーク24万1200点を贈り、12月21日に同校で贈呈式がありました。ジャックス執行役員経営企画部長の瀬川和彦さんからは「ベルマークの力で、地域の人々もベルマーク収集に協力していただきます。全道小学校スクールバンドフェスティバル札幌大会に出場するほどの腕前で、今回の寄贈品は感謝のトロン

愛媛の有志グループ、11万点寄贈

県民義援金をくまモンに

愛媛県のベルマークボランティアグループ「ベルマーク愛媛」（中村眞治代表）がベルマーク11万点を「熊本、大分両県の子どもたちに使ってほしい」と熊本のくまモン隊に手渡しました。11月4日に愛媛県庁で贈呈式があり、県内企業や県民義援金29万円と、県民義援金は7月の8万4千円、2000円に達している。

8年秋、「盲学校に点字タイプライターを贈ろう」と松山市役所に働き、自宅でマークを仕分けしています。市役所OBで、会長の中村さん、和田いづみさん、OBの母親の清水政子さんが中心に仕分けを続けています。マークは愛媛県保育協議会（会長伊藤道子・久万保育園園長）が県内保育施設で2016年1月〜7月に集めました。



メッセージボードとベルマークのシートをくまモンに手渡す園児たち

園児一人ずつが、「くまモン」の「おとちい」と声をそろえて、全員で大きな声で「ベルマークのシートとメッセージボードをくまモンに

手渡しました。ベルマーク愛媛は2011年1月に県立松山盲学校に13万点を寄贈し、新型点字タイプライター購入を実現させました。愛媛県保育協議会は保育

園や子育て支援センターにも収集の網を広げました。集めたマークは県庁に届け、中村会長が本社に仕分け、和田代表が「くまモン」に手渡しました。

仕分けから寄贈しているのは、阪神淡路大震災後に寄贈されたマークの仕分けを手伝った経験があるからです。これまでに100万点を寄贈しています。

児童に朝会でお礼を言いたい。何に使うかを報告するのでも大事な行事です。地域のスーパーやお店のほか、X18地区の自治会に、回収箱に収集袋をつけてもらい、協力を得ているのも強みです。ラオスの図書館事業への「友愛援助」をずっと続けており、財団からの感謝の盾が事務室に飾ってあります。



千葉・佐原小は100万点

千葉県で累計点数トップの香取市立佐原小学校（小川泰求校長、児童814人）が6年間、100万点を積み上げて累計1000万点を達成しました。1961年にベルマーク運動に参加してから、一度も途切れることなく活動してきた結果です。利根川水運を利用して

「江戸優り」といわれるほど栄えた佐原は、実測日本地図を作成した伊能忠敬ゆかりの地です。ベルマーク活動は、リサイクル委員会の子どもたちとPTAの厚生委員のお母さんたちが進めています。月に1回ベルマークの収集袋を児童一人ひとりに配り、各学年の廊下に置いて回収箱を置くので、作業の大変さを実感しつつも「これからも被災地の学校支援のために続けたい」と話します。

ボランティアクラブは20年前、ロシアのタンカーが重油流出事故を起こし、北陸・山陰に流れ着いた重油回収のボランティアに加わったのがきっかけです。出来上がったのは約20人が震災の復旧作業に駆けつけたり、多摩川クリーン作戦に参加したりしています。電話を受けたとき、実はびっくりしました。私も調布市民だからです。ベルマーク寄贈を市職員に報告するチラシにも、そこには触れており、「これも何かの縁かもしれません」と書いてあります。そして、市民の一人として誇らしく思います。（広報部長・小菅幸一）

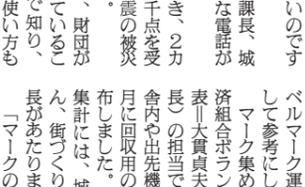


「職員有志がベルマークを集めました。震災に遭った学校のために使ってほしいのです。ベルマーク運動説明会にも参加して参考にしたいです。」

「東日本大震災のあと、財団が東北の被災校支援をしていることを城戸さんが新聞で知り、「ベルマークのこんな使い方も

あるんだ」と思ったそうです。昨年5月に東京・新宿であったベルマーク運動説明会にも参加して参考にしたいです。」

「今年度は、インフルエンス対策に各クラスに加湿器3台を購入しました。保護者からも子どもたちからも大変好評です。吉田茂実先生は話しました。2014年には協賛会社「ショウワ」のキャンペーンで、1万2381点を集めて全国1位になりました。」



誇らしい市職員の志

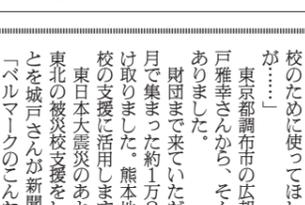
「今年度は、インフルエンス対策に各クラスに加湿器3台を購入しました。保護者からも子どもたちからも大変好評です。吉田茂実先生は話しました。2014年には協賛会社「ショウワ」のキャンペーンで、1万2381点を集めて全国1位になりました。」

「今年度は、インフルエンス対策に各クラスに加湿器3台を購入しました。保護者からも子どもたちからも大変好評です。吉田茂実先生は話しました。2014年には協賛会社「ショウワ」のキャンペーンで、1万2381点を集めて全国1位になりました。」

「今年度は、インフルエンス対策に各クラスに加湿器3台を購入しました。保護者からも子どもたちからも大変好評です。吉田茂実先生は話しました。2014年には協賛会社「ショウワ」のキャンペーンで、1万2381点を集めて全国1位になりました。」

大分・豊府小100万点 回覧板で自治会に収集袋

大分市立豊府小学校（高橋宏美校長、児童921人）が100万点を昨年11月に達成しました。収集袋の12月15日に訪問すると、学級副委員長のお母さんや子どもたちが、次々と収集袋3階のPTA事務室にマーク入り紙袋のついた布袋を持参します。会社ごとに仕分けする容器に入れていきます。1年か6年まで27学級あり、月末に収集袋が各家庭に配られ、5日に持ち帰ります。担任から受け取ったマークを仕分けして、計算し、収集袋を事務室に届けるまでが副委員長の仕事です。ここ



「市職員有志がベルマークを集めました。震災に遭った学校のために使ってほしいのです。ベルマーク運動説明会にも参加して参考にしたいです。」

誇らしい市職員の志

「今年度は、インフルエンス対策に各クラスに加湿器3台を購入しました。保護者からも子どもたちからも大変好評です。吉田茂実先生は話しました。2014年には協賛会社「ショウワ」のキャンペーンで、1万2381点を集めて全国1位になりました。」

「今年度は、インフルエンス対策に各クラスに加湿器3台を購入しました。保護者からも子どもたちからも大変好評です。吉田茂実先生は話しました。2014年には協賛会社「ショウワ」のキャンペーンで、1万2381点を集めて全国1位になりました。」

「今年度は、インフルエンス対策に各クラスに加湿器3台を購入しました。保護者からも子どもたちからも大変好評です。吉田茂実先生は話しました。2014年には協賛会社「ショウワ」のキャンペーンで、1万2381点を集めて全国1位になりました。」

TOSHIBA
ニッケル水素電池 アルカリ乾電池 **選べる**
お客様のニーズに合わせて **充実のラインアップ!!**
さらに進化した **長持ちハイパワー!**
The **IMPULSE**
機器や使い方に合わせて **選べる!!**
東芝ライフスタイル株式会社 http://www.toshiba.co.jp/living/batteries/index_j.htm